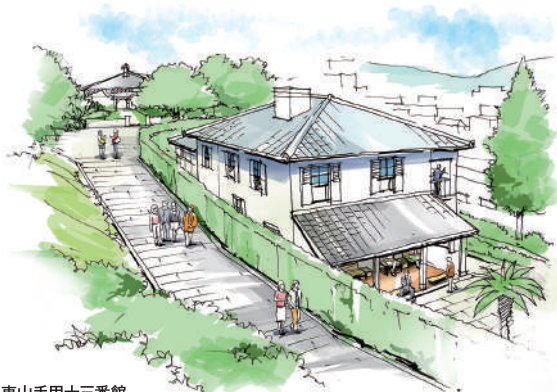


文教・未来創造ゾーン

ゾーンの将来像

ミッション・スクールやオランダ坂周辺、東山手洋風住宅群を中心として、文教地区としての環境や歴史文化を生かした新たなビジネスや文化・芸術活動、地域活動を行う若者やクリエイターらの活動拠点が形成され、相互に刺激し合うことで新たな文化が創造され、それを目的とした多様な来訪者で活気に溢れています。



東山手甲十三番館
飲食・物販等の消費機能や案内・誘導機能、学生や住民の利用促進のための交流機能を強化します。



東山手洋風住宅群（7棟）
若者やクリエイターの活動拠点や消費・交流拠点機能を検討します。また、塀の改善や電線・電柱の移設により通りからの眺望を確保します。

取組みの具体例

対応方針1 時代のニーズに対応した暮らしの実現と快適性・利便性の向上

■ 1-1 住環境の整備

- ①オランダ坂通り周辺
 - ・老朽化した石畳の補修

対応方針2 まちづくり活動や地域経済活動の活発化

■ 2-1 地域コミュニティが一体となった人づくり

- ②学生の地域活動への積極的な参加を促す仕組みづくり

■ 2-2 交流・消費の仕組みの創出

- ③学校と連携した飲食・土産物等のコンテンツの開発・提供
- ④回遊動線の強化
- ⑤オランダ通り（オランダ坂下の交差点）
 - ・東山手への回遊を促す案内サイン整備
- ⑥オランダ坂緑地
 - ・東山手への回遊を促す案内サイン整備
- ⑦オランダ坂～東山手十二番館～オランダ坂通り
 - ・誘導サインの整備
 - ・回遊動線の顕在化（通りの愛称づくり等）

対応方針3 歴史的資源や景観資産等の地域資源の保全と活用

■ 3-1 歴史的建造物等の魅力的な活用による保存

- ⑧東山手甲十三番館
 - ・飲食・物販等の消費機能の強化
 - ・ゾーン内の案内・誘導機能の強化
 - ・学生や住民の利用者促進のための交流機能の強化

⑨東山手十二番館

- ・ミッション・スクールの活動に関する情報発信の強化
- ・マダム・バタフライに関連した情報発信の強化
- ・庭園の有効活用

⑩東山手洋風住宅群

- ・7棟が連動する活用の検討
- ・若者やクリエイターをメインターゲットに、居留地の歴史文化を生かした創業や文化芸術等の活動拠点機能の検討
- ・活動拠点機能と連動した交流・消費機能の検討
- ・孔子廟・中国歴代博物館との連携の強化
- ・オランダ坂からの誘導の強化

■ 3-2 総合的で細やかな景観形成

⑪オランダ坂通り

- ・洋館や港への眺望を阻害している樹木の剪定・伐採
- ・沿道のばらの植栽の拡大

⑫オランダ坂上部（旧英国聖堂の坂）

- ・周辺の工作物の修景強化

⑬東山手洋風住宅群

- ・オランダ坂通りからの眺望の支障となっている塀の改善
- ・眺望景観の支障となっている電線・電柱の移設の検討

対応方針4 地域ブランディングの推進

- ⑭学校と連携した地域プロモーションの推進
- ⑮学生のシビックプライドを高める教育プログラム等の導入の検討

対応方針5 地域特性を踏まえた土地利用のあり方の検討

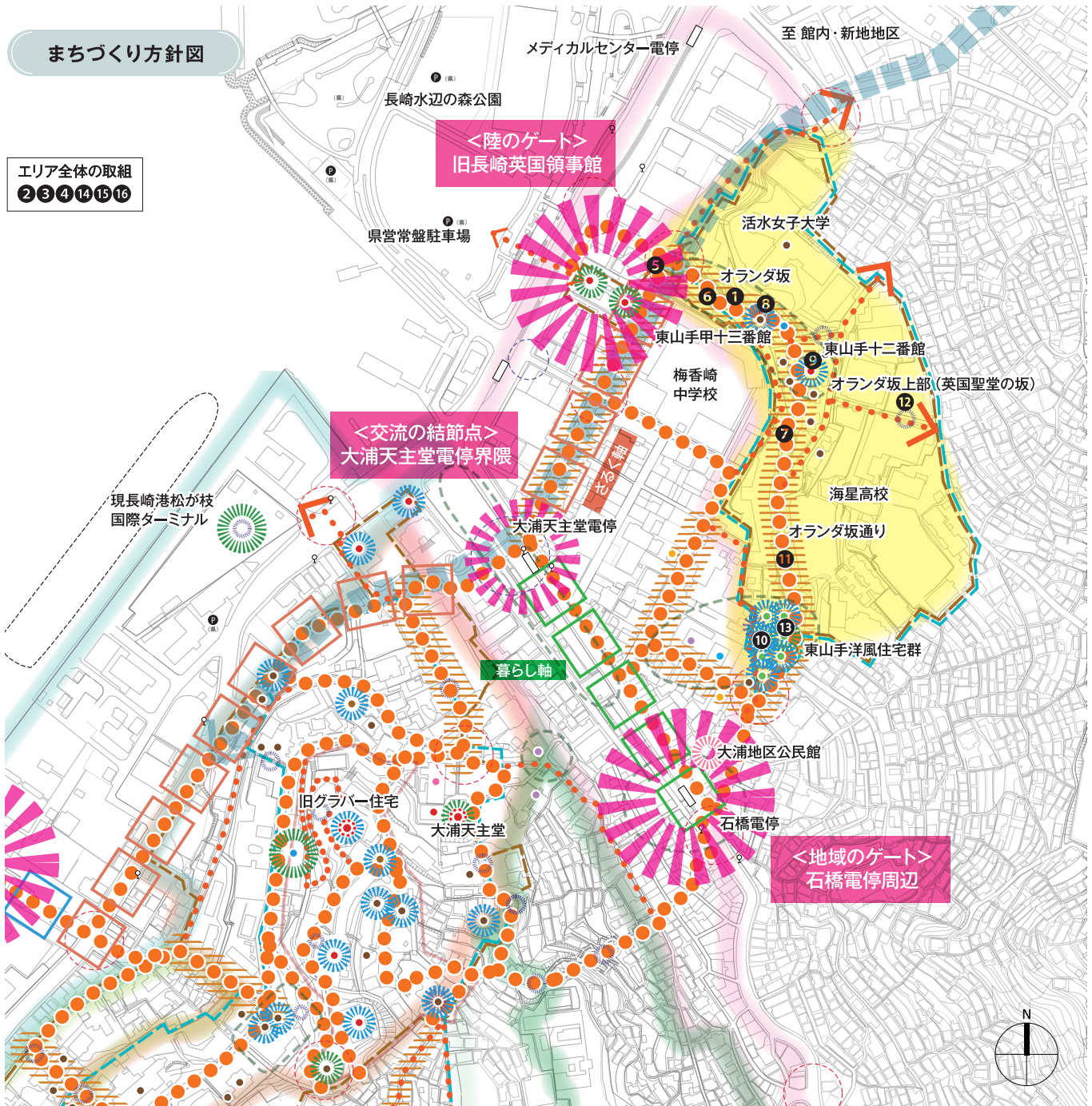
- ⑯文教地区に配慮した店舗や宿泊施設等が立地できるような建物用途制限の緩和の検討

ゾーンの現状

都心に隣接した歴史ある文教地区として行き来する若者が多く、閑静で環境にも恵まれていますが、来訪者に対してゾーンを回遊させる魅力や仕掛けを創出できておらず、歴史的建造物を生かした会議室やカフェがありますが、情報発信の不足等により周辺の学生や市民の利用が少ない状況です。

まちづくり方針図

エリア全体の取組
② ③ ④ ⑬ ⑮ ⑯



ゾーン・ネットワーク

- 暮らし・賑わいゾーン
- 文教・未来創造ゾーン
- 交流拡大ゾーン
- 歴史・暮らし散策ゾーン
- 斜面地エコライフゾーン
- 海のゲートウェイゾーン

- 歩行ネットワーク
- 補助ネットワーク
- まちなか軸
- ささく軸
- 暮らし軸

新たな拠点形成(新規・既存見直し)

- 【ハブ】行動の拠点
- 【スポット】交流・消費を生み出すスポット
- 【スポット】地域活動を支えるスポット
- 【スポット】交流・消費と地域活動が複合するスポット

通りの魅力向上・資源ネットワーク

- 通りの魅力向上・活性化
- 資源間ネットワーク強化(面としての魅力づくり)

サイン・その他

- 誘導・サイン・ゲート機能の強化
- 交通環境の向上

歴史的建造物・景観資産

- (歴史的建造物)
- 国指定文化財 (世界遺産)
- 県指定文化財

- 市指定文化財
- 伝統的建造物(上記以外)
- 景観重要建造物
- その他
- (主要観光施設・景観)
- その他主要観光施設
- 景観スポット
- 伝統的建造物群保存地区
- 風致地区
- 市街化調整区域

交流拡大ゾーン

ゾーンの将来像

2つの世界遺産の構成資産を核として、その周辺には飲食・物販等の魅力的な店舗・スポットが軒を連ね、国内外からの来訪者がゾーン内を自由に散策しながら多様な体験を楽しみ、また、市民も目的を持って日常的に訪れたり、長崎市の歴史文化の中心地として大いに賑わっています。



旧スタイル記念学校
住民のまちづくり・市民活動の拠点、来訪者と住民の交流機能を検討します。
また、旧紅葉本館方面への新たな動線整備や樹木の剪定・伐採により眺望を確保します。



旧紅葉本館・旧紅葉氏宅
物販・飲食・宿泊等を複合させた消費・交流機能を検討します。
また、駐車場の確保や樹木の剪定・伐採によりグラバー園方面の眺望を確保します。

取組みの具体例

(※)はグラバー園内の施設

対応方針2 まちづくり活動や地域経済活動の活発化

2-2 交流・消費の仕組みの創出

- ・松が枝地区の整備構想との連携
- ①グラバー園
 - ・域内外の市民が身近に利用できる環境づくり
 - ・浪の平方面への回遊を促す新たなゲート機能の検討
 - ・大浦天主堂周辺からの誘導サイン整備
- ②グラバー通り(グラバー坂)
 - ・主に来訪者向けの洗練され時流に合致した魅力的な店舗が立地できる環境づくり
- ③折りの三角ゾーン
 - ・大浦天主堂周辺からの誘導サイン整備
 - ・「多様な信仰」の魅力を活用したコンテンツの創出

対応方針3 歴史的資源や景観資産等の地域資源の保全と活用

3-1 歴史的建造物等の魅力的な活用による保存

- ④大浦天主堂・旧羅典神学校・旧長崎大司教館
 - ・世界遺産に関する体験や情報発信機能の充実化
 - ・住民の活動・営みの特別な披露の場としての活用
- ⑤旧グラバー住宅※
 - ・耐震改修の実施
 - ・グラバーに関する展示機能の充実化
- ⑥旧リンガー住宅/旧オルト住宅※
 - ・建物の価値、居留地の歴史に関する展示機能の充実化
 - ・前庭のユニークベニューやイベント会場としての活用
- ⑦旧三菱第2ドックハウス※
 - ・世界遺産に関する情報発信機能の充実化
 - ・建物前面の広場整備の検討
 - ・眺望景観を生かした交流・消費機能の付加の検討
- ⑧旧スタイル記念学校※
 - ・住民のまちづくり活動や市民活動の拠点機能の検討
 - ・来訪者と市民との交流機能の検討
- ⑨旧長崎地方裁判所長官舎※/旧自由亭※
 - ・消費・交流機能の充実化
- ⑩旧長崎高商表門守衛所※
 - ・園内ガイドの拠点機能

⑪旧ウォーカー住宅※

- ・展示機能の充実化

⑫長崎伝統芸能館※

- ・既存の機能移転後のイベント、アフターMICE会場及びユニークベニュー会場の補完機能としての活用の検討

⑬南山手乙27番館(南山手レストハウス)

- ・眺望景観の確保とベイウインドウの復元
- ・眺望景観と広場を生かした交流・消費機能の検討

⑭旧香港上海銀行長崎支店

- ・建造物・長崎華僑・長崎居留地等に関する展示機能
- ・ユニークベニューやイベント等への活用の強化
- ・ライトアップのリニューアル

⑮旧長崎税関下り松派出所

- ・交流・消費機能の検討
- ・ライトアップのリニューアル

⑯南山手8番館(南山手地区町並み保存センター)/南山手乙9番館(須加五々道美術館)

- ・交流・消費機能の検討

⑰旧紅葉本館・旧紅葉氏宅

- ・グラバー園以南への回遊を促す拠点機能の検討
- ・物販・飲食や宿泊等が複合する交流・消費機能の検討
- ・施設利用者のための駐車場機能の確保

3-2 総合的で細やかな景観形成

⑱グラバー通り(グラバー坂)

- ・大浦天主堂の参道にふさわしい景観形成の強化

⑲グラバー園

- ・眺望景観の支障となっている樹木の剪定・伐採

⑳祈念坂

- ・ブロック塀等の工作物の修景強化

㉑スタイル記念学校裏の坂

- ・眺望景観の支障となっている樹木の剪定・伐採
- ・旧紅葉本館方面への新たな動線整備

㉒コンスイ坂

- ・道路の美化化

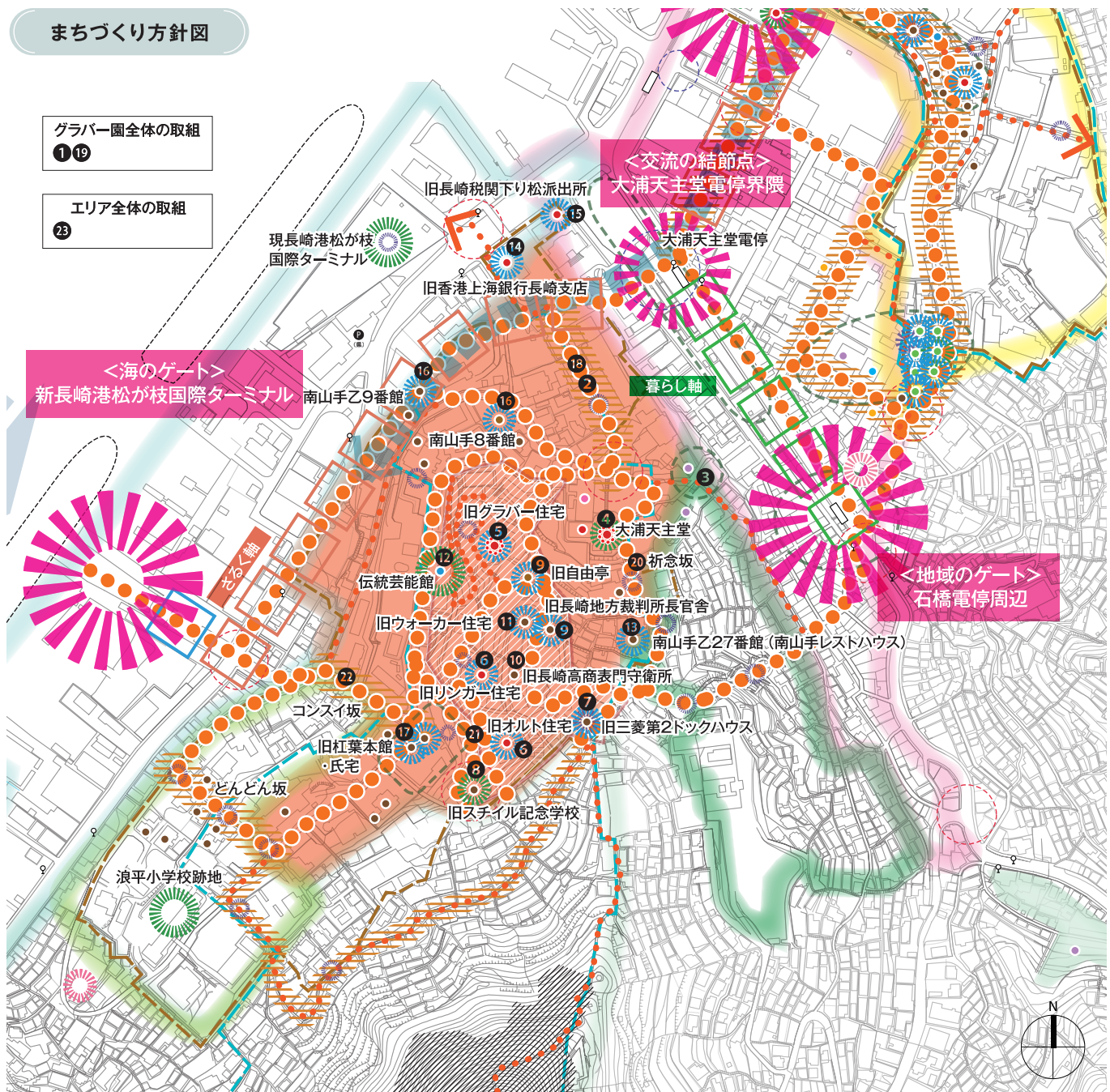
対応方針5 地域特性を踏まえた土地利用のあり方の検討

- ⑳店舗や宿泊施設等が立地できるような建物用途制限の緩和の検討

ゾーンの現状

2つの世界遺産の構成資産を有する長崎市で最も有名な観光地であり、著名な観光スポットである大浦天主堂とグラバー園周辺は賑わっていますが、そこからゾーン内を広く回遊させる魅力や仕掛けを創出できておらず、誘引力となっていたこれらの観光施設の入場者数も減少しています。

まちづくり方針図



グラバー園全体の取組

① ⑩

エリア全体の取組

⑬

<海のゲート>

新長崎港松が枝国際ターミナル

<交流の結節点>
大浦天主堂電停界隈

<地域のゲート>
石橋電停周辺

ゾーン・ネットワーク

- 暮らし・賑わいゾーン
- 文教・未来創造ゾーン
- 交流拡大ゾーン
- 歴史・暮らし散策ゾーン
- 斜面地エコライフゾーン
- 海のゲートウェイゾーン

- 歩行ネットワーク
- 補助ネットワーク
- まちなか軸
- ささく軸
- 暮らし軸

新たな拠点形成(新規・既存見直し)

- 【ハブ】行動の拠点
- 【スポット】交流・消費を生み出すスポット
- 【スポット】地域活動を支えるスポット
- 【スポット】交流・消費と地域活動が複合するスポット

通りの魅力向上・資源ネットワーク

- 通りの魅力向上・活性化
- 資源間ネットワーク強化(面としての魅力づくり)

サイン・その他

- 誘導・サイン・ゲート機能の強化
- 交通環境の向上

歴史的建造物・景観資産

- (歴史的建造物)
- 国指定文化財
- 世界遺産
- 県指定文化財

- 市指定文化財
- 伝統的建造物(上記以外)
- 景観重要建造物
- その他

- (主要観光施設・景観)
- その他主要観光施設
- 景観スポット
- 伝統的建造物群保存地区
- 風致地区
- 市街化調整区域

歴史・暮らし散策ゾーン

ゾーンの将来像

歴史的建造物と坂道や路地、閑静な住宅街が織りなす歴史的な生活景観のなかに、お洒落な店舗や宿泊施設が点在し、落ち着いた雰囲気の中で小人数のグループや個人の来訪者が静かに散策と発見を楽しみながら、住民とも自然な交流が行われるなど、居住と観光が共存しています。



どんどん坂周辺
電線・電柱類の移設やブロック塀等の工作物の修景を強化します。また、夜間の景観整備を行います。



浪平小学校跡地
住民の憩いや防災機能等を備えた広場や駐車場機能を検討します。また、樹木の剪定・伐採により眺望を確保します。

取組みの具体例

対応方針1 時代のニーズに対応した暮らしの実現と快適性・利便性の向上

1-1 住環境の整備

- ①生活利便性向上につながる店舗等が立地できる環境づくり
- ②危険な樹木の剪定・伐採
- ③浪平小学校跡地
 - ・住民の憩い、イベント、防災の機能を有する広場の検討
 - ・南公民館利用者や地域住民が利用する駐車場の検討
 - ・生活支援や福祉等の車両が利用できる駐車場機能の確保の検討
- ④旧ロシア領事館跡地
 - ・老朽危険家屋等の諸問題への対策

1-2 移住・定住の促進

- ⑤空き家・空き地情報の迅速な把握と積極的な活用の仕組みづくり
- ⑥斜面地暮らしの魅力発信の強化

浪の平夏まつり



地域住民などの実行委員会が中心となって廃校となった旧浪平小学校跡地で毎年8月に夏まつりを開催し、出店やステージイベントが行われ、地域内外の多くの人で賑わいます。

対応方針2 まちづくり活動や地域経済活動の活発化

2-2 交流・消費の仕組みの創出

- ⑦松が枝地区の整備構想との連携
- ⑧浪の平交差点周辺における案内・誘導機能の強化

対応方針3 歴史的資源や景観資産等の地域資源の保全と活用

3-2 総合的で細やかな景観形成

- ⑨どんどん坂周辺
 - ・眺望景観の支障となる電線・電柱類の移設
 - ・ブロック塀等の工作物の修景強化
 - ・夜間景観整備

対応方針5 地域特性を踏まえた土地利用のあり方の検討

- ⑩住環境に配慮した店舗や宿泊施設等が立地できるような建物用途制限の緩和の検討

花広場



地域住民が中心となって東琴平2丁目の空き地を花壇のある小広場へとセルフリノベーションし、地域の様々なイベントで活用することで賑わいづくりを行っています。

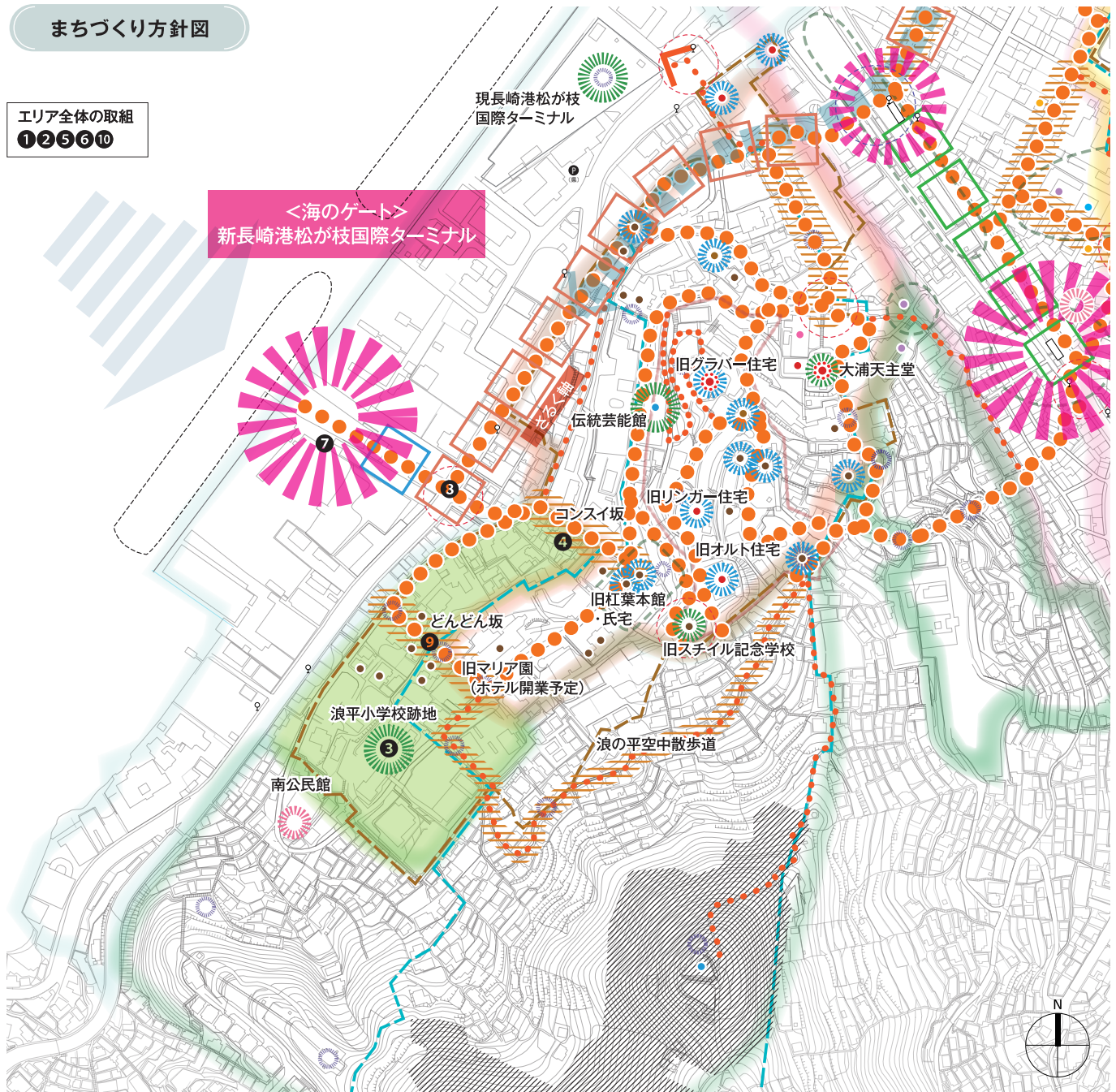
ゾーンの現状

小規模な観光スポットと住居が混在しており、交流拡大ゾーンと海のゲートウェイゾーンを繋ぐポテンシャルがありますが、洋館の活用方法や景観の磨き上げに課題があり、市民や来訪者の滞在や消費、体験を促す仕掛けが不足しています。

まちづくり方針図

エリア全体の取組

①②⑤⑥⑩



<海のゲート>
新長崎港松が枝国際ターミナル

- ゾーン・ネットワーク**
- 暮らし・賑わいゾーン
 - 文教・未来創造ゾーン
 - 交流拡大ゾーン
 - 歴史・暮らし散策ゾーン
 - 斜面地エコライフゾーン
 - 海のゲートウェイゾーン

- 歩行ネットワーク
- 補助ネットワーク
- まちなか軸
- ささく軸
- 暮らし軸

新たな拠点形成(新規・既存見直し)

- 【ハブ】行動の拠点
- 【スポット】交流・消費を生み出すスポット
- 【スポット】地域活動を支えるスポット
- 【スポット】交流・消費と地域活動が複合するスポット

- 通りの魅力向上・資源ネットワーク**
- 通りの魅力向上・活性化
 - 資源間ネットワーク強化(面としての魅力づくり)

- サイン・その他**
- 誘導・サイン・ゲート機能の強化
 - 交通環境の向上

- 歴史的建造物・景観資産**
(歴史的建造物)
- 国指定文化財
 - 世界遺産
 - 県指定文化財

- 市指定文化財
- 伝統的建造物(上記以外)
- 景観重要建造物
- その他
- (主要観光施設・景観)
- その他主要観光施設
- 景観スポット
- 伝統的建造物群保存地区
- 風致地区
- 市街化調整区域

斜面地エコライフゾーン

ゾーンの将来像

斜面地ならではの眺望や自然、人のつながりに共感する移住者が増加し、長崎らしい暮らし方ができる地域として市内外で認知され、新旧の住民により地域コミュニティが形成されるとともに、居住者の営み・活動に共感する来訪者が訪れ、コミュニティとの交流がゆるやかに行われています。



移住・定住の促進
空き家・空き地の活用の仕組みづくりや、斜面地暮らしの魅力を発信します。



住環境の整備
空き地の情報を把握し、広場や農園として有効活用します。

取組みの具体例

対応方針1 時代のニーズに対応した暮らしの実現と快適性・利便性の向上

1-1 住環境の整備

- ① 住民憩いの広場や農園としての空き地の活用
- ② 生活支援や福祉等の車両が利用できる駐車場機能の確保の検討
- ③ 老朽危険空き家の除去の推進

1-2 移住・定住の促進

- ④ 空き家・空き地情報の迅速な把握と積極的な活用の仕組みづくり
- ⑤ 斜面地暮らしの魅力発信の強化

対応方針2 まちづくり活動や地域経済活動の活発化

2-1 地域コミュニティが一体となった人づくり

- ⑥ 金刀比羅神社における活動の担い手の育成

2-2 交流・消費の仕組みの創出

- ⑦ グラバー園と銅冠山公園を繋ぐ案内・誘導サイン整備

つくる邸



移住した若者が中心となって南山手町の築70年の空き家をシェアハウス兼オープンスペースとして活用し、斜面地ならではの日々の暮らしを発信して注目を浴びています。

- ⑧ 「空中散歩道」への回遊を促す案内・誘導サイン整備
- ⑨ 「空中散歩道」の顕在化
- ⑩ 新たな観光スポット(グラバー・ツルさんの墓や乾堂公園等)の創出
- ⑪ 銅冠山等の夜景を生かした体験プログラムの造成

対応方針3 歴史的資源や景観資産等の地域資源の保全と活用

3-1 歴史的建造物等の魅力的な活用による保存

- ⑫ 大浦国際墓地(歴史的風致形成建造物指定候補)
 - ・歴史的風致形成建造物の指定の検討
 - ・居留地時代に活躍した故人の物語の発信の強化

3-2 総合的で細やかな景観形成

- ⑬ 眺望景観の支障となっている樹木の剪定・伐採
- ⑭ グラバー園第2ゲートと銅冠山公園間における新たな眺望景観スポット整備の検討
- ⑮ 眺望景観(夜間含む)の支障となっている街路灯等の改善
- ⑯ 「浪の平空中散歩道」からの眺望景観の確保

対応方針5 地域特性を踏まえた土地利用のあり方の検討

- ⑰ 建築物の更新を促進する各種制度の活用

浪の平空中散歩道



グラバー園第2ゲートから琴平方面へと延びる横道は長崎港や世界遺産の構成資産となった小菅修船場跡を望むことができることから、地域の新名所として魅力の向上や発信が行われています。

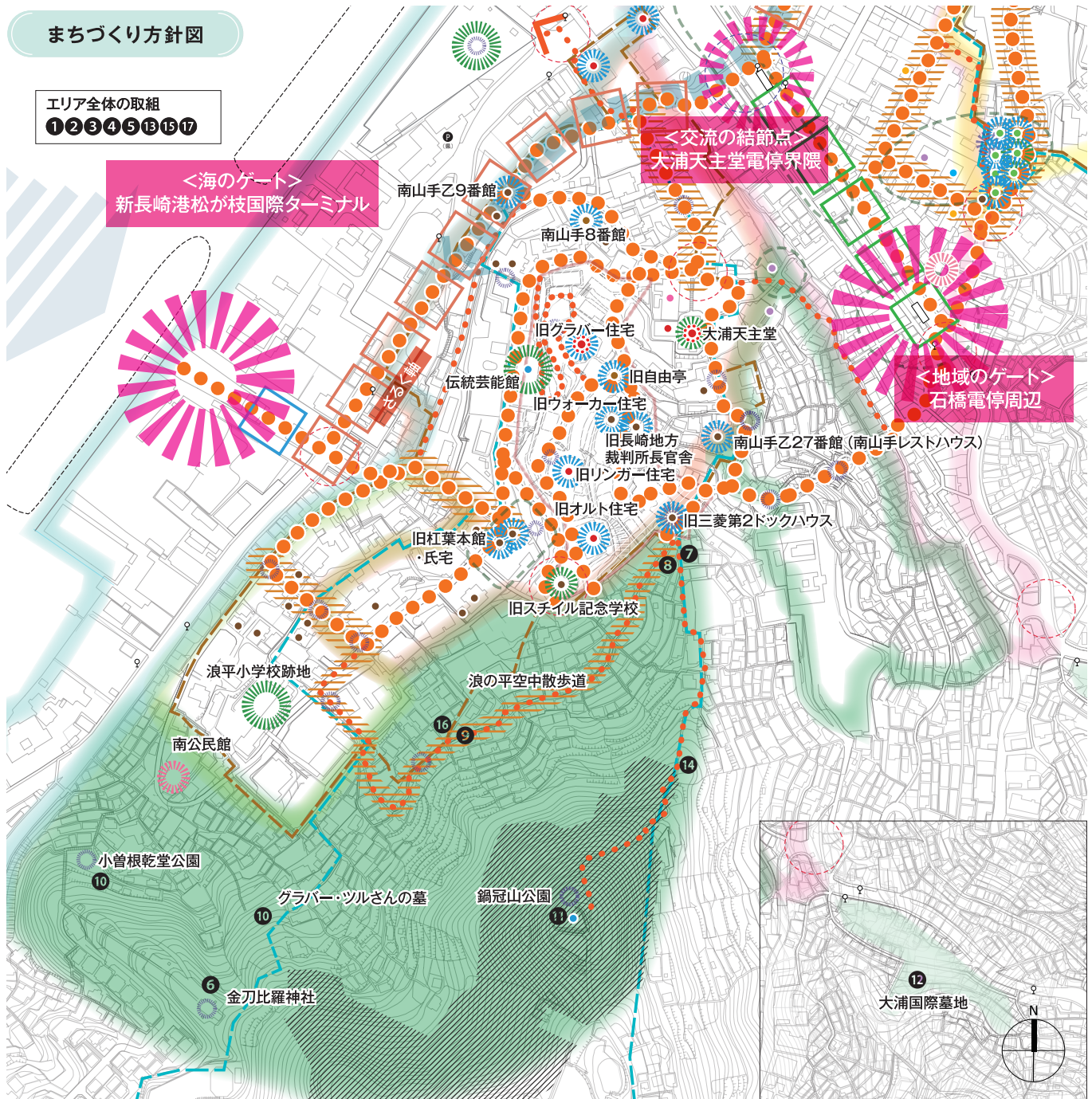
ゾーンの現状

まちなかエリアに近いアクセス性と斜面地から長崎港を臨む眺望が優れている一方で、基盤整備の遅れや少子化や高齢化、人口流出等による空き家・空き地の増加などにより、住宅地としての価値が相対的に低下しつつあります。

まちづくり方針図

エリア全体の取組

①②③④⑤⑬⑮⑰



<海のゲート>
新長崎港松が枝国際ターミナル

<交流の結節点>
大浦天主堂電停界隈

<地域のゲート>
石橋電停周辺

- ゾーン・ネットワーク**
- 暮らし・賑わいゾーン
 - 文教・未来創造ゾーン
 - 交流拡大ゾーン
 - 歴史・暮らし散策ゾーン
 - 斜面地エコライフゾーン
 - 海のゲートウェイゾーン

- 歩行ネットワーク
 - 補助ネットワーク
 - まちなか軸
 - さるく軸
 - 暮らし軸
- 新たな拠点形成(新規・既存見直し)**
- 【ハブ】行動の拠点
 - 【スポット】交流・消費を生み出すスポット
 - 【スポット】地域活動を支えるスポット
 - 【スポット】交流・消費と地域活動が複合するスポット

- 通りの魅力向上・資源ネットワーク**
- 通りの魅力向上・活性化
 - 資源間ネットワーク強化(面としての魅力づくり)
- サイン・その他**
- 誘導・サイン・ゲート機能の強化
 - 交通環境の向上
- 歴史的建造物・景観資産**
- (歴史的建造物)
 - 国指定文化財 (世界遺産)
 - 県指定文化財

- 市指定文化財
 - 伝統的建造物(上記以外)
 - 景観重要建造物
 - その他
- (主要観光施設・景観)
- その他主要観光施設
 - 景観スポット
- 伝統的建造物群保存地区
 - 風致地区
 - 市街化調整区域

海のゲートウェイゾーン

ゾーンの将来像

クルーズ船で訪れる国内外の観光客等の交通拠点として機能集積がなされ、ここを起終点として多くの人が区域内を回遊するとともに、市民の生活の場としても利用され、長崎市の歴史ある海の国際玄関口として、往時のように市民や国内外の来訪者など多様な人々の交流が盛んに行われています。



取組みの具体例

対応方針1 時代のニーズに対応した暮らしの実現と快適性・利便性の向上

1-1 住環境の整備

- ①交通結節機能、観光・交流機能及び都市機能等の導入による生活利便性向上

対応方針2 まちづくり活動や地域経済活動の活発化

2-2 交流・消費の仕組みの創出

- ②当区域や市内観光地と繋がる交通結節機能の整備
- ③インバウンドに対する観光案内等のゲートウェイ機能の導入
- ④観光情報の多言語化、異文化対応などのインバウンド対策の徹底
- ⑤国内外の来訪者の回遊の発着地点として充実した休憩・物販機能の導入
- ⑥港と南山手を繋ぐゲート空間の確保

大型クルーズ船



平成29年には過去最高の267隻のクルーズ船の寄港があり、76万9千人の乗客が長崎を訪れましたが、ポストコロナ時代にどこまで回復させることができるかが注目されています。

対応方針3 歴史的資源や景観資産等の地域資源の保全と活用

3-1 歴史的建造物等の魅力的な活用による保存

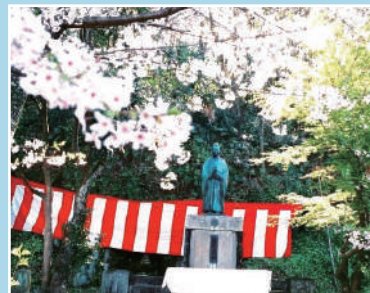
- ⑦小曾根築地等の歴史的建造物の保全と情報発信

3-2 総合的で細やかな景観形成

⑧建築行為等

- ・コンスイ坂からの眺望景観への配慮
- ・背後地の主要な視点場からの眺望景観への配慮
- ・当区域の歴史文化が感じられる意匠・形態への配慮
- ・夜間景観への配慮

小曾根乾堂の像（金刀比羅神社内）

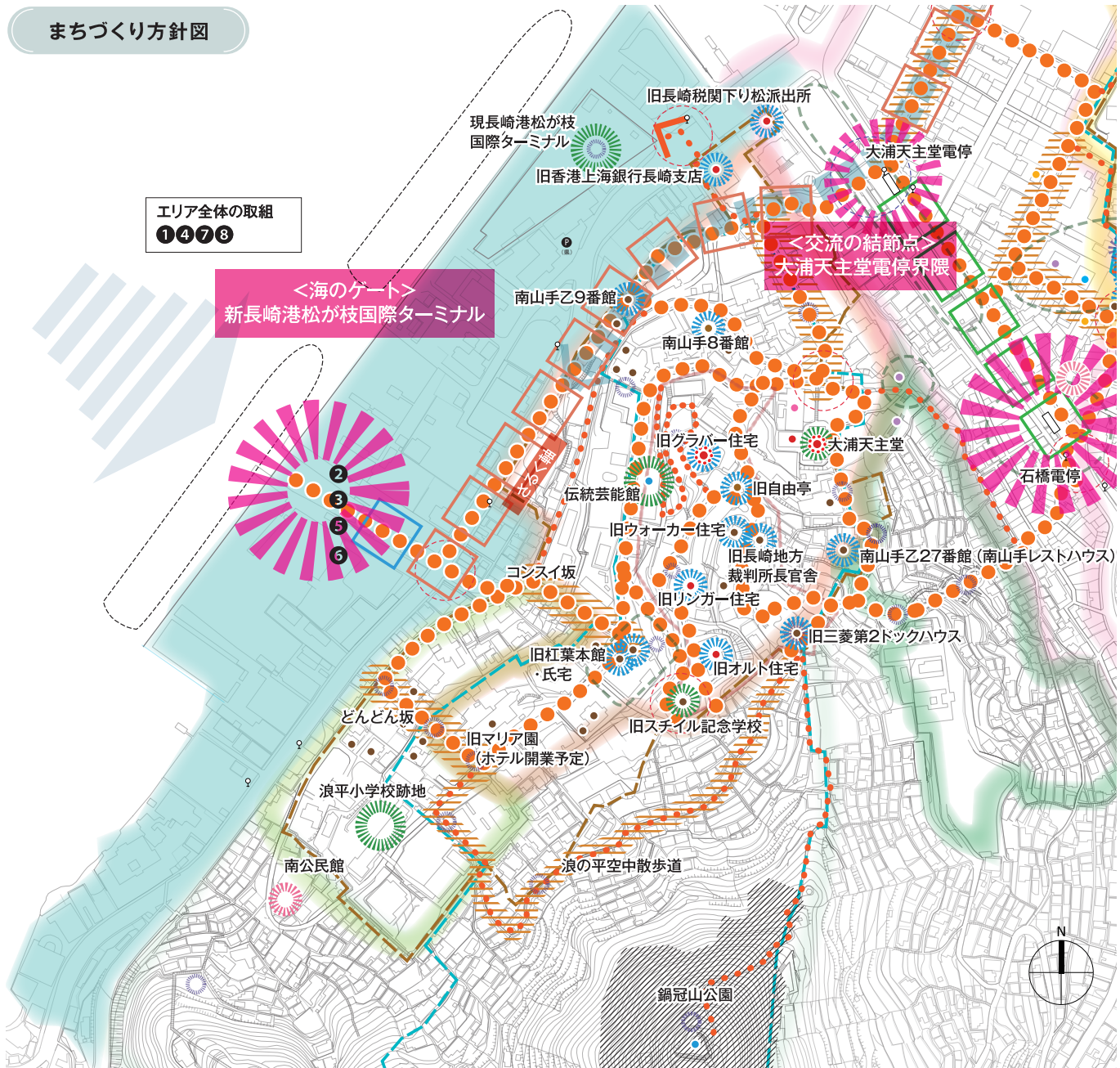


幕末から明治の長崎の豪商だった小曾根家は居留地の造成に先駆け私財を投じて、現在の小曾根町付近に「小曾根築地」と呼ばれる海外貿易のためのふ頭造成を行うなど、長崎の近代化に様々な功績を遺しました。

ゾーンの現状

クルーズ船による外国人観光客等の我が国・長崎におけるゲートウェイであるものの、ターミナルから周辺地域への回遊に繋がられておらず、加えて周辺地域の多様な世代が普段使いできる機能が少ないことから、地域に必要な機能の導入も含めた、総合的なまちづくりが検討されています。

まちづくり方針図



エリア全体の取組
①④⑦⑧

<海のゲート>
新長崎港松が枝国際ターミナル

<交流の結節点>
大浦天主堂電停界隈

※新長崎港松が枝国際ターミナルの配置計画は、あくまで現段階での案であり、今後の検討で変わることがあります。

ゾーン・ネットワーク

- 暮らし・賑わいゾーン
- 文教・未来創造ゾーン
- 交流拡大ゾーン
- 歴史・暮らし散策ゾーン
- 斜面地エコライフゾーン
- 海のゲートウェイゾーン

- 歩行ネットワーク
- 補助ネットワーク
- まちなか軸
- さるく軸
- 暮らし軸
- 新たな拠点形成(新規・既存見直し)
- 【ハブ】行動の拠点
- 【スポット】交流・消費を生み出すスポット
- 【スポット】地域活動を支えるスポット
- 【スポット】交流・消費と地域活動が複合するスポット

通りの魅力向上・資源ネットワーク

- 通りの魅力向上・活性化
- 資源間ネットワーク強化(面としての魅力づくり)
- サイン・その他
- 誘導・サイン・ゲート機能の強化
- 交通環境の向上
- 歴史的建造物・景観資産(歴史的建造物)
- 国指定文化財
- 世界遺産
- 県指定文化財

- 市指定文化財
- 伝統的建造物(上記以外)
- 景観重要建造物
- その他
- (主要観光施設・景観)
- その他主要観光施設
- 景観スポット
- 伝統的建造物群保存地区
- 風致地区
- 市街化調整区域